

第1学年 社会科

教科のねらい

- ① 社会的事象について興味、関心をもち、課題に対して自分の力で考え、行動して解決できる力を付ける。
- ② 課題の追求には様々な資料、方法があることを知り、適切に活用して問題解決につなげる力を付ける。
- ③ 様々な視点から課題を考察し、まとめ、発表する力を付ける。
- ④ 社会的事象に対する理解を深め、知識を身に付ける。

↓ 具体的には

〈地理〉世界との関わりの中から日本を学ぶ。

地図や統計資料などを用いて調べ方や学び方を身に付け、問題意識を持って課題を解決する力を付ける。

文章だけでなく写真や図などを使った様々な資料のまとめ方を身に付け、自分の研究成果を発表する方法を学ぶ。

〈歴史〉人物や出来事など様々な視点から日本と世界の歴史について学ぶ。

時代の流れを理解するとともに現代との接点を知り、さまざまなテーマを持って平和のあり方を考え、未来に対してどう関わっていくかを考える。

☆学習を進めるに当たって

使用教材	教科書『中学生の地理』（帝国書院）・『新しい社会 歴史』（東京書籍） 地図帳『中学校社会科地図』（帝国書院） 副教材『社会の自主学习（地理1）』（新学社） 『社会の自主学习（歴史1）』（新学社）	持ち物	教科書 地図帳 ノート ワーク
学習の進め方	<p><授業では></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をじっくり考え、分かったこと、課題を解決できたことに自信をもとう。 ○分かったことや、自分の考えを積極的に発表しよう。 ○他の人と協力して、分からないことを教え合ったり、考えを深め合ったりして学習に取り組もう。 ○ノートには黒板に書かれたことと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめよう。 ○ノートに授業の感想をしっかりと書こう。 ○ノートやワークなどの提出物は期日を守ろう。 <p><家庭学習では></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習したことは、その日のうちに復習しよう。（授業で書けなかった5行感想等） ○教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めよう。その際、重要語句の意味が分かり漢字で書けるようにしておこう。 ○ポイントは声に出して、書いて覚えよう。 ○テストで間違えた問題は復習しよう。 ○普段から新聞やテレビのニュースから日本と世界での出来事で、分からなかったり、興味をもったりしたことからすぐに調べる習慣を身に付けよう。 		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> ○「なぜ？」という疑問をもとう。 ○ノートには、自分の意見や他の人の意見もしっかり書こう。 ○テストやワークで間違ったところは、何度でも教科書やノートで振り返ろう。 ○分からないことや気になること、疑問に思うことがあればすぐに調べよう。 ○地名や重要語句は漢字で書けるようにしよう。 ○地理は、地図帳を活用し、それぞれの地域の特色から人々の生活を考えよう。歴史は、年表を活用し、各時代の出来事の流れを大きくつかもう。 		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって							
学期	月	単 元 計 画	試 験	評価観点		評価の場面・方法					
1	4	〈地理的分野〉 第1部 世界のさまざまな地域 1章 世界の姿 (世界の国々、経度・緯度、地球儀と世界地図)	中間	社会的 事象 への 関心 ・ 意欲 ・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して積極的に解決しようとしたか。 ・学習を通じて新たな課題をもつことができたか。 ・意欲をもって学習に取り組もうとしていたか。 ・学習した内容をどれだけ振り返ろうとしていたか。 ・世の中の様々なことさらに興味をもっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み姿勢、態度 ・ノート、ワークへの取り組み ・宿題等の提出物 ・各種テストなど 					
	5						2章 世界各地の人々の生活と環境 (各気候帯の暮らし、各地の衣食住、宗教と生活)	期末	社会的な 思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し資料に基づいて多面的に考察することができたか。 ・学習を通して、新たな課題をもつことができたか。 ・物事の変化を把握し、その背景を様々な面から考えることができたか。 ・調べたり考えた経過や内容を、分かりやすくまとめたり表現することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言の内容やノートの自分の意見の記述内容 ・各種テストなど
	6										
	7	3章 世界の諸地域 (アジア州・ヨーロッパ州)									
2	9	3章 世界の諸地域 (アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州) 〈歴史的分野〉 第1章 時代の流れ 第2章 古代までの日本 1節 文明の起こりと日本の成り立ち 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界	中間	資料 活用 の 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料を収集し、有用な資料を適切に選択することができたか。 ・様々な資料を読み取ったり、図表にまとめたりできたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での資料の読み取りなどの取り組み ・ノートやレポートなど ・各種テストなど 					
	10						期末				
	11										
	12										
3	1	第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 2節 東アジア世界との関わりと社会の変動 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	学年末	社会的 事象 について の 知識 ・ 理解	<ul style="list-style-type: none"> ・特色をとらえる方法や視点を自分なりに活用することができたか。 ・繋がりやの広さや関係を把握することができたか。 ・様々な社会の事柄の内容とその意味を自分の言葉でまとめることができたか。 ・分かったことやまとめたことを知識として身に付けることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・各種テストなど ・ノートやレポートなど 					
	2										
	3										